

「夕歩道」とは
夕張川と流域住民をつなぐ
川の道です

夕歩道

ゆうばり小学校の依頼を受けて、江別河川事務所と栗山町のNPOの協力による「出前講座」が行われました。
この講座は、札幌開発建設部職員が出向いて河川事業等の説明を行う「出前講座」の一環として実施したものです。
児童は、4つの班に分かれ、それぞれ水質調査、水生生物調査、河原の石ころ調査、植物調査を行い最後に全員で川流れを楽しみました。
※出前講座の詳細は札幌開発建設部ホームページ



河原の石をしらべる



水の透視度をしらべる



川を流れる



タモ網で魚を採る

◎日時／平成24年7月4日(水) 9:00～13:50
◎場所／ホルカクルキ川

「夕張川を学習しよう！」

出前講座

詳細はHPで! <http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/>



捕獲したウグイ、フクドジョウ



フィールドワークの様子 その2



フィールドワークの様子 その1

第24回夕張川流域会議は、昨年引き続き「河川利用」をテーマにしたフィールドワークが清幌床止で行われました。フィールドワークでは、胴長をはいて川に入り、タモ網で魚を採ってみたい、土砂堆積で形成された申州の様子を確認しました。意見交換では、いつも濁っているイメージのある夕張川に澄んでいる時期があることや、短時間でたくさんウグイやフクドジョウなどが採れたことへの驚きの声がありました。また、川を使った学習活動に関連して、川へのアプローチをしやすいするための川づくりへの意見や川に投棄されるゴミ対策が大切だとの意見がありました。
※詳細は江別河川事務所ホームページ

意見交換の様子



◎日時／平成24年7月25日(水) 13:00～16:30
◆フィールドワーク／13:15～
◎場所／夕張川清幌床止
◆意見交換／15:20～16:25
◎場所／南幌町ふるさと物産館
「ビューロー」会議室

第24回 夕張川流域会議 概要

詳細はHPで! <http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/08isiken/02genba/23ebetu/index.html>

由仁、栗山の 青少年育成会が川下り



◆日時：8月18日(土) 9:00～12:00

◆場所：夕張川(阿野呂川合流点→
JR 鉄道橋下流)

阿野呂川での
川流れの様子

由仁町、栗山町の青少年育成会が夕張川で川下りを行いました。参加者は、最初に阿野呂川で川流れを体験して、水に慣れたところで阿野呂川合流点付近をスタートしました。当日は、平常より少し水位が高かったのですが、おかげでボートが川底にあたる心配なく川下りができました。途中、誰からともなく水かけ合戦になり、大人も子どもも大変なはしゃぎようで、約3kmの川下りを十分楽しめました。



川下りの途中、中州で撮影



休憩後の
再出発の様子

サケ、マスは帰ってきたかな？ サケマス遡上調査

◆日時：9月4日(火)
9:00～17:00
◆場所：栗沢頭首工下流左岸



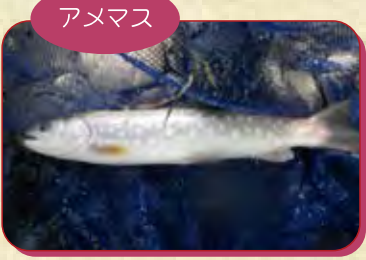
昨年の調査地点の様子



今年の調査地点の様子



サクラマス



アメマス

昨年に引き続き、栗沢頭首工でサケマスの遡上調査(※1)が放流活動を実施する栗山青年会議所、栗山町八サンベツ里山計画実行委員会等により行われました。調査当日は濁水と高気温のためか、水温が24・5℃と非常に高く最悪のコンディションとなり、サクラマス1尾、アメマス2尾を確認しました。サクラマスはメスで、まだ婚姻色がほとんど出ていない状態でした。春の調査では同じ場所でも11尾のサクラマスが確認されていますが、高水温のせいなのか、今回網にかかったのはこの1尾だけでした。アメマスは体の地色が明るく大きな白点があるなど、降海型の特徴(※2)をもっており、遡上してきた個体と思われる。なお、確認した魚は調査後に川へ放しています。

※1 この調査は北海道から「特別採捕許可」を取得して実施された調査です。
※2 アメマスには、降海型と陸封型があり、一般的には陸封したものがイワナと呼ばれています。